



こんにちは、湘南学園後援会です

「後援会らしい活動」

湘南学園後援会 会長 田辺 真理

後援会は、学園の子ども達をサポートする応援団として様々な活動をしております。

昨年に引き続き PTA の皆さまに後援会活動の一部をご紹介させていただきますので、ご一読頂ければ幸いです。通年行なわれている協力・支援に加えて、今年度は幼稚園の子どもたちへの「ちくちく(裁縫)サポート」中高への「手作り味噌の支援」を行いました

(詳細は記事参照)。子ども達との交流は楽しくわくわくし、私たちに希望を与えてくれます。今後も後援会らしいお手伝いをさせて頂きたいと思っております。



湘南学園には、素晴らしい後援会があります

学園長 仲本正夫



お子様が高校を卒業されたとき、愛する学園をこれから出ていく範囲で応援したい、あるいはそれまでの親のつなぐ機会も出てくるので、保護者の皆様にとって、アットホームな卒業生も大切にしたい学校生活を送りたい、それが後援会です。お子様と先生たちとのつながりも長く続けていけるように、活動を通して、その先生たちへの受け入れ生徒のホームステイなどでも後援会には大変お世話になっていますが、こういう機会には海外の先生たちとも再開する機会があります。

2年前の80周年記念の行事の時などには、チーム湘南学園として、PTAや同窓会と一緒に、学園のご卒業生を本気で応援しています。後援会には大変大きな力を発揮していただいています。卒業生のお子様が同窓会に、そして保護者の皆様には、ぜひご入会いただきたいというのが私の心願です。どうぞよろしくお願いいたします。

バザーの報告



昨年の雨天とはうって変わって眩しいほどの晴天に恵まれた10月4日(日)、後援会は昨年と同様、会員の皆さまからの手作りケーキ、クッキー、手作り手芸品、寄贈品等を出品し、今年は今までの最高額 139,521 円の売り上げがありました。

また当日のお手伝い等で親睦も深める事が出来て、会員の結束がより一層固まり、皆様のご協力には本当に感謝しております。ありがとうございました。また来年、バザーが行われる時には、今年と同様にご協力のほどよろしくお願い致します。

後援会役員 林 美和

幼稚園ちくちく手伝い!

幼稚園に通っていた娘が高校を卒業して、五年目の秋。

元気をいただけたお手伝いでした。自分で絵を描いたランチョンマットの縁をきちんとアイロンして、まつっていく。針? 痛くない? と、半分心配しながら見ていると、縫い目は色々あるけれど、さくらさんたちは、楽しそうにおしゃべりしながら、真剣に、針を持つ手は、

動き続けてました。針に糸を通し、かたむすびをする手助けをするだけで素晴らしい作品が仕上がり、私達も楽しい時間をいただけました。後援会役員 芳士戸 ルミ子



後援会会員 オーストラリアからの留学生



ホームステイのお手伝い

・ジャック君のホームステイ・

今回、後援会からお話を頂き、オーストラリアから来日したノックス校の生徒（卒業生）さんのジャック君をお預かりする事になりました。全日程は、9/22から10/2までの10泊11日でした。私共では、後半の9/27から10/2まで5泊6日間お引き受けしました。

我が家は、子ども達も独立し、夫婦二人きりの家庭なので、楽しいことは、何もしてあげられなかったのと、言葉のコミュニケーションもうまくとれなくて、彼は、どうだったのかなあ？と気がかりでしたが、荒木先生から「私の家が、居心地がよかった。」と伺いましてほっとしました。

短いスケジュールの中で、学園生と卒業生が、BBQ・ボーリング・鉄板焼にとお付き合い下さり、また我が家に来て楽しい時間を共有して下さった彼らには感謝致します。

何年か振りに、お弁当を作りました。また、学園と一緒に自転車2台で登下校もしました。我が子達の学園生活を思い出しました。短い期間でしたが、楽しい時間を過ごさせて頂きました。今後、また何かの折には、微力ですが学園の子ども達をサポートする応援活動ご協力させて頂きます。

会員 原田 紀子



・マックロバートソン JAPAN Tour のホストファミリーを体験して・



6月25日、メルボルン・マックロバートソン高の引率の先生4人を含む40人の女子高生が学園に到着。両校の合唱による素敵な歓迎交歓会が催されました！！続いて、我が家は美大進学希望の高3生シャロンをお預かりしました。朝、晩、世話係をかって出たバディの学園生2人が家まで送り迎えに見え、ランチも一緒にして、同世代同士あつという間に打ち解けて楽しそうでした。放課後は一緒に買い物したり、休日には近所にステイしているビッキーファミリーグループ共々水族館に行ったり、夜はゆっくりメルボルンの話を聞いたり（路面電車が江ノ電そっくりとか）、～29日まであつという間の4日間でした。

今回来日したマック女子高の皆さんは日本語を専攻していて、シャロンも日本食も何でも食べられ、帰りには美しい字で我が家の家族それぞれに日本語の手紙をくれ、胸がいっぱいでうるうるしてしまいました！こうして図らずも、オーストラリアにもう1人可愛い娘ができたことに感激致しております。いつも素敵な機会をくださる学園に深く感謝致しますと共に、益々のご発展を祈念いたしております。

会員 奥 和子

8月28日、坂元先生〔中高家庭科教諭〕のお手伝いで、中学一年生・高校三年生十数名の子ども達と味噌作りをしました。味噌作りの講師は、添加物化学調味料フリー、素性の判る安心安全な食材を使ったお料理店を開いている、元保護者で料理研究家の佐藤市子さんです。

作業をしながら話して下さる佐藤さんの教えは、味噌に蓋をする竹皮の殺菌効果、枇杷の葉の薬用効果。伝統食を頂いて繋げる命の尊さ。正に湘南学園が推進する食育そのものです。10月から中学2年生の家庭科授業でこの味噌作りを行っているそうです。

